

第七十九回 帝國議會
衆議院

日本勸業銀行法中改正法律案外五件委員會議錄(速記)第六回

(一四二)

付託議案
日本勸業銀行法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第六二號)
農工銀行法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第六三號)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第六四號)
國民貯蓄組合法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第六五號)
稅務代理士法案(政府提出、貴族院
送付)(第六六號)
社會債等登錄法案(政府提出、貴族院
送付)(第六七號)
族院計法戰時特例案(政府提出、貴
族院送付)(第七九號)

昭和十七年二月十日(火曜日)午前十時十分
開議
出席委員左ノ如シ

委員長 由谷 義治君

理事小笠原八十美君 理事駒井 重次君
理事深澤 吉平君 理事石坂 豊一君

飯田 助夫君 片岡 恒一君
金澤 正雄君 木村 浅七君

篠原 陸朗君 庄司 一郎君
土田 莊助君 簿本 太吉君

羽田 武嗣郎君 松田 正一君
吉植 庄亮君 片山 哲君

北 瞎吉君 川俣 清音君
瀧澤 七郎君 西尾 末廣君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主税局長 谷口 恒二君
大藏省會社部長 山際 秀雄君
正道君 豊君

大藏省銀行局長 松隈 正道君
大藏書記官 中村 建城君
大藏書記官 横田 光男君
大藏書記官 池田 勇人君

○土田委員 私ハ金融業ニ對シマシテハ深
キ経験モアリマセノデアリマスルガ、併シ
地方ノ土地ノ金融ノ機關トシテ重大ナ役割
ヲナシテ居ル所ノ勸業銀行ハ、耕地ノ改良並
ニ耕地ノ擴張ニ對シマシテ、長イ間民間ノ
食糧確保ニ對シマシテ協力セラレテ居ルノ
デアリマス、併シ現下ノ情勢カラ見マシテ
更ニ増産ヲシナケレバナラヌ、更ニ耕地ヲ
擴張シナケレバナラヌ、又耕地ノ改良ヲセ
テ參ツテ居リマス、殊ニ農業ノ収益利潤ハ

國民貯蓄運動局次長 氏家 武君
文部省普通學務局長 中野 善敦君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
日本勸業銀行法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

農工銀行法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

稅務代理士法案(政府提出、貴族院送付)

社會債等登錄法案(政府提出、貴族院送付)

會計法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)

○由谷委員長 是ヨリ委員會ヲ閉キマス

—土田莊助君

○土田委員 私ハ金融業ニ對シマシテハ深
キ経験モアリマセノデアリマスルガ、併シ
地方ノ土地ノ金融ノ機關トシテ重大ナ役割
ヲナシテ居ル所ノ勸業銀行ハ、耕地ノ改良並
ニ耕地ノ擴張ニ對シマシテ、長イ間民間ノ
食糧確保ニ對シマシテ協力セラレテ居ルノ
デアリマス、併シ現下ノ情勢カラ見マシテ
更ニ増産ヲシナケレバナラヌ、更ニ耕地ヲ
擴張シナケレバナラヌ、又耕地ノ改良ヲセ
テ參ツテ居リマス、殊ニ農業ノ収益利潤ハ

他ノ產業等ニ比ベテ比較的低位ニアルト言
ハレテ居ル狀態アリマス、是等ノ狀況カ
ラ考ヘマシテモ、耕地ノ改良、耕地ノ擴張
等ニ供給セラベキ資金が成ベク低利デア
ルコトヲ要スルコトハ明カデアラウト思フ
シテアリマス、斯様ニシテ不動產銀行ニ對
シマシテハ毎半期貸付金利子ノ最高歩合ヲ
シテ食糧增産ノ見地カラ愈々耕地ノ改良ニ力
ヲ用ヒ、或ハ耕地ノ擴張ニ努力致サネバナ
ラヌコトハ御話ノ通りアリマシテ、其ノ
一つノ實施機關トシテ勸業銀行ガ地方金融
上相當重要ナル役割ヲ從來マデ果シテ居
リ、又今後モ果シテ参ラナケレバナラヌコ
トハ御指摘ノ通りアリマシテ、私共全ク
同感ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、斯カ
ル際ニ於キマシテ勸業銀行ノ貸付利子歩合
ガ果シテ能ク此ノ食糧增産ノ時局ノ要請ニ
應ジ得ルモノデアルカドウカト云フ點ハ、
是亦御話ノ如ク極メテ重要なアル問題デアル
ト存ジマス、從前ノ委員會ノ際ニモ是等ノ
點ニ付テ一應ノ所見ヲ申上ダムシカガ、政
府當局トシテモ豫テ此ノ點ニ付テ勸業銀行
其ノ他ノ不動產銀行ノ貸付利率ヲ極力低下セ
シメルコトニ付テ、永年相當ノ努力ヲ續ケ
テ參ツテ居リマス、殊ニ農業ノ収益利潤ハ
預金ヲ受入レ又ハ債券ヲ發行シテ、其ノ債

ツテ居ルノデアリマス、又他面ニ於キマシテハ、積立金ガアリマスレバ、内容ガソレダケ充實セラレマシテ、勢ヒ貸出ノ方随ヒマシテ相當思ヒ切ツタ政策ニ依ツテ、信用ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フ力ヲソコニ付ケルモノナノデゴザイマス、セシムル必要ガアルト考ヘマシテ、從來其ノ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、勸業銀行ハ多年其ノ長イ歴史ニ於キマシテ初々カラ左様ナ方針ヲ執ツテ參ツテ居リマスルノデ、相當御指摘ノ如ク今日多額積立地ノ改良擴張等ニ關シマシテ、勸業銀行等ガ出來テ居リマス、又是アルガ故ニ先程申シタ通り勸業銀行債券モ容易ニ發行ガ出来、預金ガ相當集ツテ參ル、一面ニ於テ貸出金ノ方モ相當需要ニ應ジ得ルヤウナ餘裕アル貸出ヲナシ得ル力ヲソコニ貯ヘテ居ル、斯様ナ結果ニ相成ツテ居ルト見テ居ルノデアリマス

○山際政府委員 食糧増産ノ必要ニ伴フ農地ノ改良擴張等ニ關シマシテ、勸業銀行等不動產銀行ヲシテ今後益、働くセテ參リタ伊ト考ヘマスルコトハ、只今御話ノ通リデアリマシテ、是ガ爲メ今後ト雖モ尙ホ事情ノ許ス限リニ於キマシテ、其ノ貸付利子歩合ヲ益、引下ゲテ參リタイト、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居リマス、ソレニ付キマシテ此ノ際利子ノ補給デモ致シテ一層引下ゲザセタラドウカト云フ御尋ネデゴザイマスルガ、只今ノ所ハ直接其ノ方ハ考ヘテ居リマセヌガ、ソレニ代ルベキ方法トモ申シマスルカ、特ニ資金銀行間ノ安イ資金ヲ供給致シマスルコトニ依リマシテ、極ク低利ノ貸付ガ出来マスルヤウニ、所謂低利資金ノ貸出ノ方法アリマシテ、サウ致シマスルト將來更ニ多額ノ貸出金ガ必要ニナルト思フノデアリマス、然ルニ現在ノ一割ノ配當ヲ堅持シ、更ニ年々多額ノ積立金ノ繰入ヲ致スト云フコトニナラナケレバ、勸業銀行ノ事業ヲ完全ニ確保スルコトガ出來ヌ、假ニサウ云フ理由デアリマスナラバ、私共ハマアソレハソレシテ更ニ御考慮ヲ願フコトニ致スノデアリマスガ、此ノ耕地改良、耕地ノ擴張ニ

○山際政府委員 食糧増産ノ必要ニ伴フ農地ノ改良擴張等ニ關シマシテ、勸業銀行等不動產銀行ヲシテ今後益、働くセテ參リタ伊ト考ヘマスルコトハ、只今御話ノ通リデアリマシテ、是ガ爲メ今後ト雖モ尙ホ事情ノ許ス限リニ於キマシテ、其ノ貸付利子歩合ヲ益、引下ゲテ參リタイト、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居リマス、ソレニ付キマシテ此ノ際利子ノ補給デモ致シテ一層引下ゲザセタラドウカト云フ御尋ネデゴザイマスルガ、只今ノ所ハ直接其ノ方ハ考ヘテ居リマセヌガ、ソレニ代ルベキ方法トモ申シマスルカ、特ニ資金銀行間ノ安イ資金ヲ供給致シマスルコトニ依リマシテ、極ク低利ノ貸付ガ出来マスルヤウニ、所謂低利資金ノ貸出ノ方法アリマシテ、サウ致シマスルト將來更ニ多額ノ貸出金ガ必要ニナルト思フノデアリマス、然ルニ現在ノ一割ノ配當ヲ堅持シ、更ニ年々多額ノ積立金ノ繰入ヲ致スト云フコトニナラナケレバ、勸業銀行ノ事業ヲ完全ニ確保スルコトガ出來ヌ、假ニサウ云フ理由デアリマスナラバ、私共ハマアソレハソレシテ更ニ御考慮ヲ願フコトニ致スノデアリマスガ、此ノ耕地改良、耕地ノ擴張ニ

○山際政府委員 只今此ノ事變公債ノ購入、或ハ國民ノ貯蓄獎勵ト云フ問題ニ關シマシテ、地方ニ於キマシテハヤハリ各地方廳ガ町村ノ末梢體ニマデ呼掛ケマシテ、相當ナ公債ノ買入、或ハ貯蓄ヲシナケレバナラヌヤウ

○山際政府委員 大體私ノ質問ニ對シマシテハ御親切ナル答辯ヲ得マシテ、洵ニ私共モ諒ト致ス次第デアリマス、併シナガラ低物價コマデ考へ及シテ居リマセヌノデアリマスガ、尙ホ其ノ點ハ將來トモ低利資金ノミデシテモ低利政策ガ併行シナケレバナラヌ

ト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイ事
柄ト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味合方
ラ致シマシテモ舊來ノ債務ニ對シマシテモ、
ドウジ漸次利子ノ低下ヲ御願ヒ致シマスト
同時ニ、新規ノ貸出ニ對シマシテモ金融上
許シ得ル範圍ニ於キマシテ漸次利子ノ低下
ヲ致サレルヤウニ、當局ヨリ十分御監督ア
ランコトヲ御願ヒ致シテ、私ノ質問ヲ打切
ル次第デアリマス

○川俣委員 一寸關聯シテ——私此ノ委員

會ニ於テモ、他ノ委員會ニ於テモ、大藏省

ノ答辯ノ中デウモ腑ニ落チナイ點ガアル

ノデ、此ノ際確タイト思ヒマス、銀行局

長ノ御答辯ノ中ニ、農業利潤が非常ニ低イ

ト云フ、ヤウニ御答辯ニナツテ居リマスガ、

私ハ是ハ非常ナ問題デアルト思フ、一體農

業利潤ト云フモノハ何處ニ置イテ居ルノカ、

隨テ土地ニ對スル、例ヘバ不動産ニ對スル

金利ヲ引下ゲテモ宜イト云フ御言葉デアリ

マスガ、私ハ引下ゲヨウト云フ其ノ頭ノ置

キ所ニ依ツテ、是ハ引下ゲナケレバナラヌ

ガ、又相當考慮ヲ要スルノデハナイカト思

フ、例ヘバ土地ノ値段ト云フモノハ相當高

クナツテ來テ居ル、若シモ農業利潤が低イ

位デアリマスナラバ、土地ノ價格ナドガス

様ニ昂騰スルモノデハナイト思フ、ソレデ

イ理論的ノ統計ニ付キマシテハ甚ダ暗イノ

ウ云フ風ニ考ヘラレテ低イト云フコトヲ

ノカ、其ノ點ヲ御尋致シテ置キタ

○山際政府委員 實ハ私モ農業利潤ノ細カ

合ニ於テハ價格ガ上ツテ居リマセウケレド

ベ所謂貸家業ヲ營ミ居ル人カラ申シマス

レバ、貸家業トシテノ家屋ノ價值ハ下ツテ

來タ、例ヘバ之ノ自分ノ住宅ト致シマス場

モ、貸家業トシテノ貸家ノ值打ハサウ上ツ

テ居ラスヤウデアリマス、所ガ一方ニ於テ

土地ヲ資本トシテノ利潤ト云フモノハ相當

アルヤウデアリマシテ、茲ニ土地ノ相當ノ

言ハレルト云フコトヲ承ツテ居ルト云フ程

度ニ御答ヘシタヤウナ次第デアリマシテ、

的確ナル根據ヲ持ツテ茲ニ御説明申上ゲル

コトハ、非常ニ難カシイコトデアルト思フ

アリマス爲ニ、何處ノ部分ノドノ収益關係

ヲ捉ヘテ農業利潤ガ低イ高イト云フコトガ

マス所デハ、所謂農業ノ組織ガ色々複雜デ

アリマス爲ニ、何處ノ部分ノドノ収益關係

ヲ捉ヘテ農業利潤ガ低クセシメルト

言ヘルカト云コフトハ、中々問題ガ多カラ

ウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ漠然ト

申上ゲテ居リマスコトハ甚ダ恐縮デアリマ

スガ、唯左様ナ論議ガ相當行ハレテ居ルト

云フコトヲ是認致ス意味合ノ申上ゲタコト

ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○川俣委員 私ハ學問的ニ利潤ヲ御尋ネ致

シテ居ルノデハナノデアリマス、例ヘバ

生産農民ガ生産致ス場合ノ利潤ト、ソレカ

ラ土地ヲ資本トシテ見タ場合ノ利潤ト、同

ジ農業利潤ノ中ニ二ツアル、之ヲハツキリ

ト區別シテ御考ヘニナラナケレバナラスノ

デハナノカト云フ點ヲ、私ハ主トシテ御尋

ネ致シテ居ルノデアリマス、生産農民ガ農

業生産ヲ營ミマス場合ニ於ケル所ノ利潤ノ

低イコトハ、是ハ大體定説ノヤウデアル、

併シナガラ土地ヲ資本トシテ見タ場合ニ於

テ利潤ガ低イカドウカトナルト、私ハ非常ナ

疑問ガアルト思ツテ居ル、マア計算ハ別ニ

致シマシテ最近ノヤウニ都會ニ於テ、例ヘ

ベ所謂貸家業ヲ營ミ居ル人カラ申シマス

シテ御答ヘ申上ゲテ居リマシタガ、頭ノ

漠然ト御答ヘ申上ゲテ居リマシタガ、頭ノ

中ニ描イテ居リマスノハ其ノ生産者利潤ト

云フ方面デアツタノデアリマス、而シテ農

業全體ヲ改善シ、發達セシムル上ニ於テ、

金融政策ガ占メ得ル地位ニ關シマシテノ御

所見ハ、私共全ク同様ニ考ヘテ居リマス、

此ノ點ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○由谷委員長 西尾君ニ申シマスガ、文部

省ノ政府委員ノ來ルマデ……

出来ルノデアリマスケレドモ、今後ノ貯蓄

力ニ獎勵運動ヲ行フト云フヤウナ方法ガ必

要デアリマス、更ニ國民ガ今マデノ程度ノ

貯蓄デアリマスナラバ、比較的樂ニ貯蓄ガ

アルヤウデアリマシテ、茲ニ土地ノ相當ノ

言ハレルト云フコトヲ承ツテ居ルト云フ程

度ニ御答ヘシタヤウナ次第デアリマシテ、

的確ナル根據ヲ持ツテ茲ニ御説明申上ゲル

コトハ、非常ニ難カシイコトデアルト思フ

アリマス爲ニ、何處ノ部分ノドノ収益關係

ヲ捉ヘテ農業利潤ガ低クセシメルト

言ヘルカト云コフトハ、中々問題ガ多カラ

ウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ漠然ト

申上ゲテ居リマスコトハ甚ダ恐縮デアリマ

スガ、唯左様ナ論議ガ相當行ハレテ居ルト

云フコトヲ是認致ス意味合ノ申上ゲタコト

ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、隨

ヒト云フコトニ關聯シテ參ルト思フノデアリマ

スルト云フコトニナリマスト、益、土地ノ價

格ヲ昂騰セシメ、益、利潤ヲ低クセシメルト

云フコトニ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

メテ、寧ロ土地資本ト云フモノヲ昂騰セシ

ト云フノハサウ樂ナ貯蓄デハナイ、餘程生
活方法ヲ切詰メタ上デ生ミ出シタ其ノ貯蓄
マデ、コチラガ當デニシテ居ルト云フヤウ
ナコトニナリマスト、モツト／＼立入ツテ
指導獎勵スル必要ガアル、其ノ爲ニハ中央
地方共ニ貯蓄事務ヲ扱フ陣容ヲ充實シテ置
ク必要ガアル、サウ云フヤウナ方法モ考ヘテ
居リマス、又從來兎角貯蓄ノ獎勵ト云フコ
トガ一般的ニ行ハレテ居ツタノデアリマス
ガ、モツト之ヲ重點的ニヤツテ行ク必要ガ
アル、或ル方面ハ非常ニ――非常ト申シマ
シテハ語弊ガアルカモ知レマヌセガ、比較
的生活ナドモ樂ニ行ツテ居ル、貯蓄モ樂ニ
行クト云フ方面ガアリマスガ、他ノ方面ニ
於テハ相當苦シイ生活ヲシテ居ルト云フ方
面モアルノデアリマスカラ、ソレ等ヲ能ク
見分ケマシテ、サウシテ軍需工業ガ盛ンデ
アル方面トカ、或ハ都會地ノ方面トカ云フ
ヤウナ方ニモツト力ヲ入レテヤツテ行ク必
要ガアル、斯ウ云フヤウナ風ニ考ヘテ居ル
ノデアリマズ、尙ホ只今マデニ既ニ協賛濟
トナツタモノ、或ハ目下審議中ノモノナド
ニ付テ考ヘテ見マスト、稅法ニ付キマシテ
モ貯蓄ノ増強ト云フコトニ非常ニ重點ヲ置
イテ、其ノ改正ガ行ハレテ居リマス、委員
會ノ議題ニ上ツテ居リマス貯蓄組合法ノ改
正ト云フモノモ亦此ノ貯蓄増強ノ一手段ト
ナツテ居ルノデアリマス、又更ニ簡易生
命保險ノ限度ノ引上デアルトカ、郵便貯金
命令ヲ出シ得ルト云フヤウナコト、或ハ貯
蓄債券、報國債券ノ發行限度ヲ擴張スルト
云フヤウナコト、或ハ豫算ニ付テ見マスト、

ト云フヤウナモノニ付テ、相當之ヲ増額増率スルト云フヤウナコト、サウ云フコトヲ貯蓄增强ノ上ニ執ツタ方策トシテ申上ゲルコトガ出来ルト思ヒマス

○西尾委員 町内會ヲ通ジテヤツテ居リマス國民貯蓄組合ノ、過去ニ於ケル一箇月ノ平均ノ貯蓄額ハドレ程ノモノデアリマセウカ、更ニ今後ハソレニ對シテドノ程度ニ貯蓄が増加サレルト云フ見込ヲ立テ居ラレルカ、御伺ヒ致シマス

○氏家政府委員 過去ニ於ケル貯蓄組合ノ一箇月ノ貯蓄ノ額ト云フヤウナモノハ、實ハマダ調ペガ付イテ居ラナイノデアリマス、實御承知ト思ヒマスガ、貯蓄組合ト云フノハ實ハ非常ニ數ガ多イノデゴザイマス、現在五十万以上モアリマス、其ノ貯蓄組合其ノモノノ數モ、毎月ノヤウニ増加シテ居リマシテ、實ハ最近ノ所デアルト組合ノ數サヘモマダハツキリシテ居ラナイヤウナ次第デアリマスノデ、御尋ネノヤウナ數字ハ持ツテ居リマセヌノデスガ、大體併シ事變後出來マシタ貯蓄組合ノ現在マデニ蓄積シマシタ總體ノ貯蓄額ト云フモノハ、約二十億デアルト云フコトハ分ツテ居リマス、十七年度ニ於キマシテハ組合法ノ改正ニ依ツテ、又非常ニ組合貯蓄ト云フモノハ伸ビテ行クト云フコトヲ豫想致シテ居リマス、又此ノ方面ニ相當力ヲ入レテ行キタイト思ツテ居リマスカラ、今マデヨリハ急激ニ増加シテ行クダカラ、又其ノ見込ガアルト思ツテ居リマス

○氏家政府委員 實ハソレハ非常ニ難カシイ問題デアリマスガ、大體ノ見當ヲ申上ゲマス、今マデノ所ハ一番多ク殖エタ年デ大體年額七八億、十億ニハ足ラナカツタノデアリマス、本年度ニ於キマシテハ其ノ二倍乃至三倍位マデノ増強ヲ目標トシテ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

○西尾委員 私ハ現在行ハレテ居リマスル國民貯蓄組合ノヤリ方ニ付キマシテ、當局ガヤハリ新シイ工夫ヲスル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、ト云フノハ一般的ニ愛國心、道義心ニ懃フルト云フ今マデノヤリ方ガ繼續サレマスト、實際ノ行ハレル部面ニ於キマシテハ、町内會デ大體其ノ家、世帯ノ大キサニ應ジテ割合ガ決メラレルノデアリマスケレドモ、實際ニ行ハレテ居ル結果ヲ見マスルト、或ル家デハ寧ロ生活費ノ十分ニ足ラヌト云フ事情ノ下ニ於テモ、尙ホ幾ラカ是ハ義務デアルト考ヘテ、二圓ナリ三圓ナリスル、或ル家デハ百圓シテモ二百圓シテモ尙ホ餘裕ノアル者ガ大體十圓、二十圓位ノ程度デ、ソレデマア町内會トシテノ義務ヲ果スト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、勿論負擔能力ガアル者ハ、租稅ノ關係ニ於テ、又他ノ公債ヲ買フト云フヤウナ方法ニ依ツテソレハ負擔ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ方ニ付キマシテハ、只今政府委員ノ御述ベニナリマシタヤウナ意味ニ於テ、色々重點的ニ御努力願ヒタインデアリマスガ、私共ノ考ヘル所デハ、或ル一定ノ生活費ヲ基準ニ致シマシテ、其ノ下ノ方ニハ餘り半強

○氏家政府委員 只今ノ御尋ネ非常ニ御尤モデアリマシテ、貯蓄組合ト申シマシテモ、私共ノ方ト致シマシテモ、會社、工場、事業場ト云フヤウナ方面、其ノ外ノ殷賑産業方面ト、ソレカラ普通ノ地域的ノ組合ト云フヤウナモノハ餘程區別シテ考ヘテ居リマス、指導方針モズツト違ヘテ居リマス、又最近段々組織サレテ參リマシタ所ノ高額所得者ノ組合ト云フモノガアリマシテ、斯ウ云フヤウナ方面ニハ段々ト高率ノ貯蓄ヲ獎勵スルト云フヤウナ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、御尋ネノ貯蓄組合ハ主トシテ地域的ナ組合ノコトデアラウト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ非常ニ低イ生活ヲシテ居ル者ニ付テモ、相當ノ貯蓄ヲ半強制的ニヤラシテ居ルト云フ聲ハ私共モ聞イテ居リマス、大體貯蓄ノ割當ニ限ラズ、稅ナンカニ付テモ同ジヤウニナルト思フノデアリマスルガ、能ク此ノ負擔能力ト云フモノヲ調査シマシタ上デ、賦課スル稅ト見立割ト云フヤウナモノノ調べガ不十分デアリマスカラ、隨テ見立ト云フコトニナル、稅デアリマス、貯蓄ナンカハ、殊ニ貯蓄能力ト云スト取切リニ取ルノデアルカラト云フコト

モアリマスガ、貯蓄デアレバ多少無理ガ行
ツテモ何モ損サセル譯デハナイト云フヤウ
ナ考ヘ方モアリマシテ、御話ノヤウニ餘り
貯蓄能力ニ適應シテ居ラナイ貯蓄ヲサセテ
居ル、苦シイナガラモ世間體モアルカラト
云フノデ、ヤツテ居ルト云フヤウナ方面モア
ルカト思フノデアリマス、是ハ非常ニ遺憾
ナコトデアリマシテ、今後益組合貯蓄ヲ獎
勵スルト云フコトニナリマスト、此ノ儘デ
ハ放ツテ置ケナイト思フノデアリマス、實
ハ今マデ統合ノ設立ト云フコトニ付テ色
色獎勵モシテ參リマシタガ、組合ノ指導ト
云フヤウナコトニ於テハ手不足ナ點モアリ
マシテ、不十分ナ所ガ非常ニ多カツタヤウ
ニ思ヒマス、先程申上ゲマシタヤウニ、中
央ニ於テモ又地方ニ於テモ、獨リ府縣廳バ
カリデナク、更ニ中間機關ガ設置サレルコ
トニナリマシタカラ、其ノ方面デモ貯蓄ノ
コトヲ相當扱フヤウナコトニチツテ居リマ
スガ、指導獎勵ト云フヤウナ方面ガモツト
合理化サレル、又サウシナケレバナラスト
思ツテ居リマスカラ、段々御指摘ノヤウナ
弊害モ少クナツテ來ルコトダラウト思ツテ
居リマス

○西尾委員 是ハ税金ノヤウニ頭カラ割當
テテ、君ノ所ハ何圓ト云フヤウニハ行キマ
セヌケレドモ、此ノ數字ガ適當デアルカド
ウカ分リマセヌガ、例ヘバ收入百五十圓以
下ノ者ハ強ヒテ貯蓄シナイデモ宜シイ、或
モ、其ノ標準ニ基イテ各家庭カラ町内會ニ
申出サセルト云フヤウナコトモ一ツノヤリ
方デハナイカト思フノデアリマス、一面ニ

於テ生活困窮者カラ無理ナ取立ヲシナイヤ
ツテモ損サセル譯デハナイト云フコトト、一面ニ於テハゾレ
貯蓄能力ニ適應シテ居ラナイ貯蓄ヲサセテ
居ル、苦シイナガラモ世間體モアルカラト
云フノデ、ヤツテ居ルト云フヤウナ方面モア
ルカト思フノデアリマス、是ハ非常ニ遺憾
ナコトデアリマシテ、今後益組合貯蓄ヲ獎
勵スルト云フコトニナリマスト、此ノ儘デ
ハ放ツテ置ケナイト思フノデアリマス、實
ハ今マデ統合ノ設立ト云フコトニ付テ色
色獎勵モシテ參リマシタガ、組合ノ指導ト
云フヤウナコトニ於テハ手不足ナ點モアリ
マシテ、不十分ナ所ガ非常ニ多カツタヤウ
ニ思ヒマス、先程申上ゲマシタヤウニ、中
央ニ於テモ又地方ニ於テモ、獨リ府縣廳バ
カリデナク、更ニ中間機關ガ設置サレルコ
トニナリマシタカラ、其ノ方面デモ貯蓄ノ
コトヲ相當扱フヤウナコトニチツテ居リマ
スガ、指導獎勵ト云フヤウナ方面ガモツト
合理化サレル、又サウシナケレバナラスト
思ツテ居リマスカラ、段々御指摘ノヤウナ
弊害モ少クナツテ來ルコトダラウト思ツテ
居リマス

カラ來ル貯蓄額ノ減少ヲ他デ補フ、サウシ
テ國家ノ要請ニ應スルト云フ爲ニハ何等力
居ル、苦シイナガラモ世間體モアルカラト
云フノデ、ヤツテ居ルト云フヤウナ方面モア
ルカト思フノデアリマス、是ハ非常ニ遺憾
ナコトデアリマシテ、今後益組合貯蓄ヲ獎
勵スルト云フコトニナリマスト、此ノ儘デ
ハ放ツテ置ケナイト思フノデアリマス、實
ハ今マデ統合ノ設立ト云フコトニ付テ色
色獎勵モシテ參リマシタガ、組合ノ指導ト
云フヤウナコトニ於テハ手不足ナ點モアリ
マシテ、不十分ナ所ガ非常ニ多カツタヤウ
ニ思ヒマス、先程申上ゲマシタヤウニ、中
央ニ於テモ又地方ニ於テモ、獨リ府縣廳バ
カリデナク、更ニ中間機關ガ設置サレルコ
トニナリマシタカラ、其ノ方面デモ貯蓄ノ
コトヲ相當扱フヤウナコトニチツテ居リマ
スガ、指導獎勵ト云フヤウナ方面ガモツト
合理化サレル、又サウシナケレバナラスト
思ツテ居リマスカラ、段々御指摘ノヤウナ
弊害モ少クナツテ來ルコトダラウト思ツテ
居リマス

此ノ機會ニ文部當局ニ御伺ヒ致シタイノ
デアリマスガ、國民學校ノ貯蓄組合ニ於テ
ハ、扶養家族アル者ハ其ノ本給ノ百分ノ五、
扶養家族ナキ者ハ百分ノ二十五貯蓄スルト
云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點
ノ御考慮ヲ煩ハスノミニ止メテ置キタイト
思フノデアリマス

此ノ機會ニ文部當局ニ御伺ヒ致シタイノ
デアリマスガ、國民學校ノ貯蓄組合ニ於テ
ハ、扶養家族アル者トハナラヌノデス、子供ハ出來
テモ依然トシテ扶養家族ナキ者ト云フ解釋ノ
下ニ、百分ノ二十五ヲ負擔シナケレバナラ
ヌノダト云フコトヲ聽キマシタノデ、ソレ
ハドウモ餘リ杓子定規デ話方分ラスト思ヒ
マシテ、私ハ極ク近所ノ他ノ校長先生ニ、斯
ラ、淘ニ其ノ通リデス、子供ハ男親ニ屬ス
ルモノデアルカラ、男親ガ「サラリーマン」
ウ云フ話ヲ聽イタガドウデスカト聽イタ
教員デアル場合ニハ、子供が出來テモ扶養
家族ナキ者トシテヤハリ百分ノ二十五負擔
スル必要ガアルト云フコトヲ言ハレタ、斯
ウ云フコトニナリマシテ私ハ色々奔走シタ
結果、約半額ニスルコトニシタノデアリマ
スガ、是ナドモ實際ノ事情ニ合ハナイ無理
ルニ付テハ、何デモ彼デモ杓子定規ニヤレ
ト云フヤウナ意味デハナク個々ノ事情ニ應
ジテ適當ニ斟酌スルヤウニト云フコトヲ特
ニ斷ツテアルノデザイマス、一例ヲ申上
ゲマスト、貯蓄額ノ割合ヲ定メルニ付テハ
大都市ト地方トノ生活上ノ相違、自己家屋
居住者ト借家住ヒノ者トノ別、多額ノ負債
ヲ有スル者等各個ノ事情ヲ考慮スルコト、
或ハ事變前ニ於テ失業、病氣等ノ爲メ所得
ナカリシ者又ハ所得ノ著シク少額ナリシ者
ニ付テハ、其ノ増加所得額ニ適用スベキ割

ラヌノデ、色々準備ヲヤツテ居ル最中デ、
何トカ之ヲ輕減シテ貯ヘヌカト云フコトヲ
校長ニ願ツタ所ガ、オ前ガ百分ノ二十五負
擔シナケレバ、ソレダケノモノハ他ノ教員
ニ負擔サセルコトニナルノダト云フコト
デ、他ノ教員ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトニ
ガ、サウ云フ點ニ於テ漠然トシタ愛國心、
道義心ニ懲ヘルト云フノデハナク、ソレヲ
モット基準ヲ示スト云フヤウナコトモ一ツ
ノ方法デハナイカト云フ意味ニ於テ、當局
ノ御考慮ヲ煩ハスノミニ止メテ置キタイト
思フノデアリマス

○氏家政府委員 只今ノ問題ハ、文部當局
ニ對シテノ御質問ノヤウデアリマスガ、實
ハ是ハ國民學校教員ニ付テノ特有ナル問題
デハアリマセヌノデ、一應私カラ御答申上
ゲテ見ダイト思ヒマス、貯蓄ノ場合ニ於ケ
ル率ニ付キマシテハ、實ハ參考ト云フ程度
デ國民財蓄獎勵局カラ指示シテアル率ガア
ルノデアリマス、其ノ率ガ丁度御話ノ率ト
ピツタリ合ツテ居ルヤウデゴザイマス、國
民學校ノ教員其ノ他ノ方面ノ人モ、特別ニ
所得ノ多イ方面或ハ殷賑産業方面ト云フヤ
ルノデアリマス、其ノ率ガ丁度御話ノ率ト
ウナモノヲ除イテ、大體ソレヲ標準ニ致シ
テ居ルノデアリマス、併シ其ノ率ヲ運用ス
ルニ付テハ、何デモ彼デモ杓子定規ニヤレ
ト云フヤウナ意味デハナク個々ノ事情ニ應
ジテ適當ニ斟酌スルヤウニト云フコトヲ特
ニ断ツテアルノデザイマス、一例ヲ申上
ゲマスト、貯蓄額ノ割合ヲ定メルニ付テハ
大都市ト地方トノ生活上ノ相違、自己家屋
居住者ト借家住ヒノ者トノ別、多額ノ負債
ヲ有スル者等各個ノ事情ヲ考慮スルコト、
或ハ事變前ニ於テ失業、病氣等ノ爲メ所得
ナカリシ者又ハ所得ノ著シク少額ナリシ者
ニ付テハ、其ノ増加所得額ニ適用スベキ割

合ヲ適當ニ斟酌スルモ可ナルコト、事變前ニ比シ所得ノ増加シタル者ニアリテモ、時局ノ影響ニ依リ特ニ増加シタモノニアラズシテ、定期昇給等ノ如キ自然増加ノモノニ付テハ、其ノ貯蓄額ノ割合ヲ適當ニ斟酌スルモ可ナルコト、本組合以外ニ於テ別ニ貯蓄スル者ニ付テハ、其ノ貯蓄額ノ割合ヲ適當ニ斟酌スルコト。ト云ツタヤウナ色々斟酌ノ場合ヲ細カニ書イテアルノデアリマスカラ、之ヲ活用シテ戴ケバ今ノヤウナ問題ハ自ラ解決スルンデヤナイカト思フノデアリマス、率ノ決メ方ガ惡イト云フノデナクテ、適用ノ仕方ガ餘リニ拘子定規ニナツイカト思フノデアリマス。

○西尾委員 重ネテ御尋ね致シマスガ、第一ニハ率ノ決メヤウガ惡イノデハナイト仰シヤイマシタケレドモ、扶養家族ナキ者ハ百分ノ二十五ヲ負擔スルノガ妥當デアルト云フ、其ノコトニ付テ私ハ妥當デナイト思フノデアリマスルカラ、重ネテソレニ對スル根據ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、モシマシタ學校ノ校長ノヤリ方ノミナラズ、ウーツハ運用問題デアリマスガ、私ハ其ノ點ハ運用ノ問題ダト考ヘマシテ、問題ヲ起シテ居ル、斯ウ云フコトニ歸着スルノデハナイカト思フノデアリマス。

○氏家政府委員 御話ノハ丁度事變前ニ比シ所得ノ増加ナキ者ニ適用スペキモノト云フ中ノ月額百圓以下ノ者ト云フノガ御話ノ率ダト思フノデゴザイマス、ソレガ扶養家族ノナイン者ハ百分ノ二十五以上、扶養家族ノアル者ハ百分ノ五以上、何處ニ此ノ根據ガアルカ、斯ウ云フ御尋ねデゴザイマス、是ハ只今ドウ云フ根據ト言ツテ計算上斯ウトハ困難ダト思ヒマス、實ハ此ノ率ヲ決メ私ノ極ク近クニ居ル心易イ校長ノ所へ行ツテ、斯ウ云フコトガアルノダガドウダト言ツテ聽キマシタ所ガ、ソレハ強制ト云フコトニハナツテ居ナイケレドモ、是ハ大阪ノコトデアリマスルガ、ヤハリ其ノ貯蓄組合幹部が集マツテ相談シタ結果、成ベク豫定額ニ達スルヤウニシヨウト云フコトニ決メタノデ、實際ニ行ハレテ居ルノハ、何等カノ事情デ或ル人ガ如何ニモ負擔シニクイト云フ場合ニ減額サレタナラバ、減額シタ

モノハ他ノ教員ニ於テ之ヲ負擔スルト云フコトガ原則トシテ行ハレテ居ルノデアリマス、現ニ其ノ校長ハ、私ノ學校デモサウ云フ風ニシテ居リマスト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスルカラ、或ル一校長ノミガ運用宜シキヲ得ナカツタノデナクシテ、私他ノ縣ノコトハ知リマセヌガ、律義者ノ多イ學校ノ教員ノ間ニ於テハモウ大部分ガ運用宜シキヲ得ナイ結果ニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスルカラ、此ノ點ニ付テハ適當ナ處置ヲ執ツテ欲シイ、斯様ニ思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ文部當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ、ソレカヲ前ノ點ニ付キマシテハ大藏當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○谷口政府委員 先程カラ西尾サンカラ色國民貯蓄獎勵ノ御趣旨デ御質問ヲ戴イテ居リマシテ、當局トシテハ洵ニ銘致スノデアリマスルガ、先程所謂御希望トシテ仰シニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテモ大體同ジ方向ニ最近ハ特ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、當委員會ニ於テモ先日松田サンカラ仰セニナリマシテ、ヤハリ具體的ナ獎勵方法ヲシタ方ガ宜クハナイカト云フ御話ガアツタノデアリマス、今日吾々ノ役所ニ居リマシテモ、色々ノ部局ガアルノデアリマスケレドモ、貯蓄獎勵ヲ擔當シテ居リマスル部局ハ時局上或ル意味ニ於テ最も重要な事務ナル場面ヲ分擔シテ居ルノデアリマシテ、最近ニ於キマシテハ特ニ人員モ強化致シマシテ、只今西尾サンノ仰セニナリマシタヤウナ具體的ナ方法ヲ考慮スルト云フ方向ニ進ンデ居ルノデアリマス、或ハ科學的ノ方法ト云フヤウナコトモ世間デ仰セニナル方モアルノデアリマスルガ、大體ノ筋道ト致シマシテハ從來ヨリモ一層細力且ツ具體的ニ獎勵ヲシテ行クト云フ方向ニ段々努力致シタイト思フノデアリマス、尙又只令文部當局ニ對スル御質問モアリマシタノデアリマスルガ、色々伺ツテ居リマスルトハ、併シ實際ヤツテ見マシテ非常ニ實際ニ御相談ヲ申上げマシテ此ノ率ヲ決メマシタノハ昭和十三年ナノデゴザイマス、事變が始マツテ間モナクノコトデゴザイマス、ソレデ當時大急ギデ色々關係方面ノ人事ハ困難ダト思ヒマス、實ハ此ノ率ヲ決メシタノハ昭和十三年ナノデゴザイマス、

ベク例外ヲ求メルコトノナイヤウニ、圓滿ニ行キマスルヤウニ吾々トシテハ希望致スノデアリマス、西尾サンノ只今御舉ゲニナリマシタ具體的ノ例ニ付キマシテ裁キノ付クヤウナ御答ヘノ仕方デモナイノデアリマスルケレドモ、大體氣持ヲ申上ゲマシテ一段ト御盡力ノ程ヲ御願ヒ致スノデアリマス○中野(善)政府委員 大藏當局カラノ御説明デ或ヘ盡キテ居ルカト存ジマスガ、度々御指名デ御質問ガゴザイマシタノデ、御答ヘ致サナイノモ失禮ト存ジマシテ、一言申上ゲマス、只今西尾サンカラノ御詫ノ點、十分文部當局致シマシテモ、此ノ事變ノ續イテサウト思ツテ居リマス、尙ほ調査致シマシテ上デ、大藏當局ト十分ニ又協議ヲ遂ゲマシテ、成ベク不都合ノナイヤウニ、且ツ又思ヒマス

○西尾委員 私ノ質問ハ是デ終ルノデアリマスガ、最後ニ私ハ自分ノ意見ヲ述べテ、特ニ私ガ今マデ質問シテ來マシタ趣旨ガ當局ニ徹底致シマスヤウニ致シタイト思フノデアリマス、政府ハ、言フマデモナク最低ノ國民生活ハ保障スルト國民ニ約束シテ居ルノデアリマス、政府ハ、言フマデモナク最低ノ國民生活ハ保障スルト云フ見地カラ見ルノデアリマスガ、此ノ最低生活ヲ保障スルト云フ意味ハ、決シテ社會政策的ナ、或ハ救濟的ナ、或ハ仁政的ナ意味ニ於ケル最低生活ヲ保障スルト云フ見地カラ見ルノデアリマス、即チ今日ノ國民生活ハ何ノ爲ニスルナラバ、此ノ國民ノ最低生活ヲ確保國防國家體制ヲ確立スルト云フ見地カラ見ルノデアリマスガ、是ハ二十一年間ニ於ケル最低生活ヲ保障スルノデナクシテ、國家ノ爲ニ最低生活ヲ保障スルノデナケレバナラスト思フノデアリマス、即チ今日ノ國民生活ハ何ノ爲ニスルナラバ、少シ極端ナ言ヒ

○西尾委員 私ノ質問ハ是デ終ルノデアリマスガ、最後ニ私ハ自分ノ意見ヲ述べテ、特ニ私ガ今マデ質問シテ來マシタ趣旨ガ當局ニ徹底致シマスヤウニ致シタイト思フノデアリマス、政府ハ、言フマデアルカト申シマス、然ルニ現狀ハドウデアルカト申シマスルト、必ズシモ斯ウ云フ意味ノ國防國家體制下ニ於ケル國民生活メ最低ガ保障サレ思ハセラレルノデアリマス、ソレカラ會テ大藏大臣ハ國民ノ生活費ハ一年間ニ五百億万圓ダト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリ見方ニ依リマシテハ、動物的ナ最低生活サヘモ十分ニ保障サレ居ルトハ言ヘナイノニ願セマスシ、アナタノ御話ノ中ニ今マデ質問答ノアツタコトモアリマスカラ、ドウ御注意願ヒマス

○西尾委員 デハ簡單ニシマス、百五十億万圓ダト言ヒマスガ、サウシマスト一人一箇月十二圓五十錢ニナルノデアリマス、私ハ別ノ委員會ニ於テモ論ジタノデアリマスルガ、今日人口政策ガ非常ニ重要ニナツテ來タノデアリマスルガ、是ハ二十年間ニ國民ヲ一億万人ニスルト云フ此ノ人口政策モ、實際ハ其ノ目的ヲ達スルコトガ出来テイノデハナイカト思ハレル程ニ出生率ガ減退シテ來テ居ル、又結核ノ罹病率、死亡率ト云フモノモ非常ニ高マツテ來テ居ル、

「ドイツ」ガ昭和七年ノ「ドイツ」ノ統計ニ依リマスルト、即チ戰爭終ツタ年デアリマス、即チ今日ノ國民生活トハ、之ヲ勞働者ニ付テ言ヒマスルナラバ、今日モ十分ニ能率ヲ發揮シ、明日モ十分ニ能率ヲ發揮シ、否三年五年經ツテモ、此ノ事變ノ續イテ居ル限リ最高限ノ勞働能率ヲ發揮スルト云フコトガ是ガ職域奉公デアル、其ノ爲ニハ數年ニ亘ツテ其ノ生活ヲ十分ニ能率ヲ發揮スルヤウナ生活ニシナケレバナラスト云フノガ、勞働者ニ於ケル所ノ最低國民生活デアル、一般國民ニ付テ言マスナラバ、イツ何時デモ赤紙ガ來マスレバ第一線ニ飛出しヌト思フノデアリマス、即チ最低生活ト云フノハ、動物的ナ、唯命ガアツタラ宜イト云フ

全國ノ工業都市ノ勞働者ノ平均生活費、ガ六圓位ニナツテ居リマス、サウシテ見マス

ト、十二圓五十錢ト云フノハ全國デアリマスルガ、其ノ時ハ死亡率ガ一万人ニ對シテ

スカラ、大體ニ於テは當ツテ居ルノデハ日本ノ現在モ、明治三十三年カラ見マスルト、段々ト高マツテ來マシテ、ヤハリ歐洲戰爭ノ影響ヲ受ケマシテ、重工業ガ盛ンニナツテ

來タ昭和七年ニ所謂峯ニナツテ居ルノデアリマス、ソレガ段々ニ下ツテ來テ居ツタノ

ガ、又事變前後カラ段々高マツテ來マシテ、今日ノ統計ハマダ發表サレマセヌケレドモ、恐らく昭和七年ノ「ドイツ」ノ一万人ニ

對スル死亡率ヨリモハ上ニナツテ來テ居ルノデハナイカト私ハ内心憂ヘテ居ルノデ

アリマス、益、國民ガ丈夫ニナツテ内ニ在ツ

テハ能率ヲ増進シ、一旦緩急アレバ御召ニ

カノ缺陷ガアルノデハナイカト云フコトヲ思ハセラレルノデアリマス、ソレカラ會テ

大藏大臣ハ國民ノ生活費ハ一年間ニ五百億万圓ダト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリ

マスガ……

○由谷委員長 西尾君一寸、御意見ハ簡單ニ願セマスシ、アナタノ御話ノ中ニ今マデ質問答ノアツタコトモアリマスカラ、ドウ御注意願ヒマス

○西尾委員 デハ簡單ニシマス、百五十億万圓ダト言ヒマスガ、サウシマスト一人一

箇月十二圓五十錢ニナルノデアリマス、所

ガ實際調查シタ所ニ依リマスルト、東京市ニ於テハ百人ノ工場勞働者ヲ標準ニシテ調

ケレバナラヌノデハナイカト云フ意味ニ於

テ申上ゲタノデアリマスカラ、今マデモ十分御考慮下サツテ居ルコトト思フノデアリマスガ、兎角大藏富局ハ金ノ勘定ニ没頭スルト云ツテハ惡イノデアリマスガ、重點ヲ置ク嫌ヒガアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ一層ノ御注意ト御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ル、次第デアリマス

○由谷委員長 石坂君

○石坂(豊)委員 私ノ質問ハ取止マス

○由谷委員長 松田君、此ノ前保留サレタ質問ダケヲ此ノ際御願ヒ致シマス

○松田(正)委員 先程カラモ質問應答ヲ重ネラレテ居リマスガ、大藏省ノ方ハ少シ地方ノ實情ヲ調べテ、國民貯蓄ノ他ノ成績ノ舉ガルヤウニ努力サレナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、此ノ間モ質問ヲ致シマシタカラ此ノ點ハ希望致シテ置キマシテ、銀行ノ貸付方面ニ付テ申上ゲテ置キマス、此ノ委員會ニ掛ツテ居リマス、勸業銀行、拓殖銀行、農工銀行、是等ノ如キハ今委員會ニ於テ憂慮致シテ居リマスノハ、結果此ノ特殊銀行ガ產業資金ニ廻ハスベキ金支障ガナイカト云フノガ皆ノ憂慮スル所デアリマス、地方ニ於キマシテハ斯ウ云フコトガアリマス、大藏省ノ方デ御考ヘニナツテ居ルコト銀行ノ扱ヒガ違フノデス、假ニ擔保ガ少シ輕イ、ソレダカラ親族ヲ連帶保證ニ入レヨ、斯ウ云フヤウナコトノ御示シガアルヤウデアリマス、ソコデ農民ハ昔カラノ親族ノ人ヲ保證ニ入レタ、サウシテ調べテ見タ所ガ、七親等内ノ血族、三親等内ノ姻族デアツタ、所ガ此ノ特殊銀行ノ方デハ、オ前親族ト云フモノハドンナモノ

カ知ツテ居ルカ、法律上七親等内ノ血族ト三親等内ノ姻族ハ親族ト言ヘナイヂヤナインカ、オ前ノ持ツテ來タノハ是ハ親族デハナルト云ツテハ惡イノデアリマスガ、重點ヲ置ク嫌ヒガアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ一層ノ御注意ト御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ル、次第デアリマス

○由谷委員長 石坂君

○石坂(豊)委員 私ノ質問ハ取止マス

○由谷委員長 松田君、此ノ前保留サレタ質問ダケヲ此ノ際御願ヒ致シマス

○松田(正)委員 先程カラモ質問應答ヲ重ネラレテ居リマスガ、大藏省ノ方ハ少シ地方ノ實情ヲ調べテ、國民貯蓄ノ他ノ成績ノ舉ガルヤウニ努力サレナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、此ノ間モ質問ヲ致シマシタカラ此ノ點ハ希望致シテ置キマシテ、銀行ノ貸付方面ニ付テ申上ゲテ置キマス、此ノ委員會ニ掛ツテ居リマス、勸業銀行、拓殖銀行、農工銀行、是等ノ如キハ今委員會ニ於テ憂慮致シテ居リマスノハ、結果此ノ特殊銀行ガ產業資金ニ廻ハスベキ金支障ガナイカト云フノガ皆ノ憂慮スル所デアリマス、地方ニ於キマシテハ斯ウ云フコトガアリマス、大藏省ノ方デ御考ヘニナツテ居ルコト銀行ノ扱ヒガ違フノデス、假ニ擔保ガ少シ輕イ、ソレダカラ親族ヲ連帶保證ニ入レヨ、斯ウ云フヤウナコトノ御示シガアルヤウデアリマス、ソコデ農民ハ昔カラノ親族ノ人ヲ保證ニ入レタ、サウシテ調べテ見タ所ガ、七親等内ノ血族、三親等内ノ姻族デアツタ、所ガ此ノ特殊銀行ノ方デハ、オ前親族ト云フモノハドンナモノ

カ知ツテ居ルカ、法律上七親等内ノ血族ト三親等内ノ姻族ハ親族ト言ヘナイヂヤナインカ、オ前ノ持ツテ來タノハ是ハ親族デハナルト云ツテハ惡イノデアリマスガ、重點ヲ置ク嫌ヒガアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ一層ノ御注意ト御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ル、次第デアリマス

○由谷委員長 石坂君

○石坂(豊)委員 私ノ質問ハ取止マス

○由谷委員長 松田君、此ノ前保留サレタ質問ダケヲ此ノ際御願ヒ致シマス

○松田(正)委員 先程カラモ質問應答ヲ重ネラレテ居リマスガ、大藏省ノ方ハ少シ地方ノ實情ヲ調べテ、國民貯蓄ノ他ノ成績ノ舉ガルヤウニ努力サレナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、此ノ間モ質問ヲ致シマシタカラ此ノ點ハ希望致シテ置キマシテ、銀行ノ貸付方面ニ付テ申上ゲテ置キマス、此ノ委員會ニ掛ツテ居リマス、勸業銀行、拓殖銀行、農工銀行、是等ノ如キハ今委員會ニ於テ憂慮致シテ居リマスノハ、結果此ノ特殊銀行ガ産業資金ニ廻ハスベキ金支障ガナイカト云フノガ皆ノ憂慮スル所デアリマス、地方ニ於キマシテハ斯ウ云フコトガアリマス、大藏省ノ方デ御考ヘニナツテ居ルコト銀行ノ扱ヒガ違フノデス、假ニ擔保ガ少シ輕イ、ソレダカラ親族ヲ連帶保證ニ入レヨ、斯ウ云フヤウナコトノ御示シガアルヤウデアリマス、ソコデ農民ハ昔カラノ親族ノ人ヲ保證ニ入レタ、サウシテ調べテ見タ所ガ、七親等内ノ血族、三親等内ノ姻族デアツタ、所ガ此ノ特殊銀行ノ方デハ、オ前親族ト云フモノハドンナモノ

カ知ツテ居ルカ、法律上七親等内ノ血族ト三親等内ノ姻族ハ親族ト言ヘナイヂヤナインカ、オ前ノ持ツテ來タノハ是ハ親族デハナルト云ツテハ惡イノデアリマスガ、重點ヲ置ク嫌ヒガアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ一層ノ御注意ト御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ル、次第デアリマス

○由谷委員長 石坂君

○石坂(豊)委員 私ノ質問ハ取止マス

○由谷委員長 松田君、此ノ前保留サレタ質問ダケヲ此ノ際御願ヒ致シマス

○松田(正)委員 先程カラモ質問應答ヲ重ネラレテ居リマスガ、大藏省ノ方ハ少シ地方ノ實情ヲ調べテ、國民貯蓄ノ他ノ成績ノ舉ガルヤウニ努力サレナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、此ノ間モ質問ヲ致シマシタカラ此ノ點ハ希望致シテ置キマシテ、銀行ノ貸付方面ニ付テ申上ゲテ置キマス、此ノ委員會ニ掛ツテ居リマス、勸業銀行、拓殖銀行、農工銀行、是等ノ如キハ今委員會ニ於テ憂慮致シテ居リマスノハ、結果此ノ特殊銀行ガ産業資金ニ廻ハスベキ金支障ガナイカト云フノガ皆ノ憂慮スル所デアリマス、地方ニ於キマシテハ斯ウ云フコトガアリマス、大藏省ノ方デ御考ヘニナツテ居ルコト銀行ノ扱ヒガ違フノデス、假ニ擔保ガ少シ輕イ、ソレダカラ親族ヲ連帶保證ニ入レヨ、斯ウ云フヤウナコトノ御示シガアルヤウデアリマス、ソコデ農民ハ昔カラノ親族ノ人ヲ保證ニ入レタ、サウシテ調べテ見タ所ガ、七親等内ノ血族、三親等内ノ姻族デアツタ、所ガ此ノ特殊銀行ノ方デハ、オ前親族ト云フモノハドンナモノ

カ知ツテ居ルカ、法律上七親等内ノ血族ト三親等内ノ姻族ハ親族ト言ヘナイヂヤナインカ、オ前ノ持ツテ來タノハ是ハ親族デハナルト云ツテハ惡イノデアリマスガ、重點ヲ置ク嫌ヒガアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ一層ノ御注意ト御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ル、次第デアリマス

○由谷委員長 石坂君

○石坂(豊)委員 私ノ質問ハ取止マス

○由谷委員長 松田君、此ノ前保留サレタ質問ダケヲ此ノ際御願ヒ致シマス

○松田(正)委員 先程カラモ質問應答ヲ重ネラレテ居リマスガ、大藏省ノ方ハ少シ地方ノ實情ヲ調べテ、國民貯蓄ノ他ノ成績ノ舉ガルヤウニ努力サレナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、此ノ間モ質問ヲ致シマシタカラ此ノ點ハ希望致シテ置キマシテ、銀行ノ貸付方面ニ付テ申上ゲテ置キマス、此ノ委員會ニ掛ツテ居リマス、勸業銀行、拓殖銀行、農工銀行、是等ノ如キハ今委員會ニ於テ憂慮致シテ居リマスノハ、結果此ノ特殊銀行ガ産業資金ニ廻ハスベキ金支障ガナイカト云フノガ皆ノ憂慮スル所デアリマス、地方ニ於キマシテハ斯ウ云フコトガアリマス、大藏省ノ方デ御考ヘニナツテ居ルコト銀行ノ扱ヒガ違フノデス、假ニ擔保ガ少シ輕イ、ソレダカラ親族ヲ連帶保證ニ入レヨ、斯ウ云フヤウナコトノ御示シガアルヤウデアリマス、ソコデ農民ハ昔カラノ親族ノ人ヲ保證ニ入レタ、サウシテ調べテ見タ所ガ、七親等内ノ血族、三親等内ノ姻族デアツタ、所ガ此ノ特殊銀行ノ方デハ、オ前親族ト云フモノハドンナモノ

或ハ賣レト言ハレルノデハナカラウカ、サ
スレバ是ハ餘り成績ヲ舉ゲタ所ガ、其ノ成
績ヲ舉ガタ效果ガナイノデハナイカト云フ
所謂不安デゴザイマス、ソレデ其ノ不安ガ
全國的ニ今マデハアリマス、合併ヲセシメ
テ居ル道程ヲ逃ツテ、今吾々ハドウナツテ
行クノデアルカ、縣ニ一行ニナツテシマフ
ノカ、或ハ三縣ニ一行ニナツテシマフノカ、
或ハ其ノ他ノ小サイ金融機關ノ如キモーツ
ニサレテシマフノカ、吾々ハモウ今是ヨリ
成績ヲ舉ゲテ見タ所ガ何ニモナラヌノダ、斯
吾々個人トシテハ何ニモナラヌノダ、斯
ウ云フ風ナコトヲ今ノ時局ニ於テ業者ニ感
ジサスト云フコトハ、金融界ノ活動ノ結果
國策遂行ノ上ニ非常ナ影響ヲ齎スノデハナ
イカト思ヒマス、ソレカラ合併ヲ致シマシテ、
此ノ間大臣ニ一部分ヲ御伺ヒシマシタガ、
今日マデノ合併ヲ致シマシタ其ノ迹ヲ考ヘ
テ見マスト、保険會社ノ如キ、或ハ庶民金
融機關ノ如キ、或ハ銀行ノ如キ、何處ヲ眺メ
テ見マシテモ二ツアツタ時ニハ相當成績ガ舉
皆十五以下位ノ成績シカ舉ツテ居リマセヌ、
ツテ居ツタ、十ノ成績ガ舉ツテ居ツタ、ソレ
ヲ二ツアツ合併シテ一ツニシテ二十ノ成績ガ舉
ツタカト云フト、ドレモ是モ舉ツテ居ラヌ、
アルトハ勿論考ヘテ居ラヌノデゴザイマス、
アルトカ、單一デアルトカ云フコトヲ意味
シテハ居ラヌト考ヘテ居ルノデアリマシテ、
要ハ合併、買收ヲ致シマシタ結果、個々ノ
其ノ合併サレタ金融機關ガ具體的ニ一層機
能ヲ發揮スルヤ否ヤト云フコトニ依ツテ決
定致シテ行クヨリ外ニ致シ方ハナイト思フ
ニアリマス、及ビ不安デ今ドウナルヤラト
云フ腰ノ極マラヌモノヲ、何トシテ之ヲ安
定セシメルカ、此ノ方針ニ付テ大體ノ御意
見ヲ承ツテ置キタイ、個々ノコトニ付キマ

シテハ又別ノ機會ニ御伺ヒスルコトニ致シ
マス
○山際政府委員 金融機關ノ整理統合ノ問
題ニ關シマスル大體ノ方針ニ付テ御尋ネデ
アリマスルガ、御承知ノ如ク近年當局ト致
シマシテハ、金融機關ノ整理統合、具體的
ノ方法ト致シマシテハ、只今御話ノアリマ
シタル合併、買收等ノ方法ヲ相當進行サセ
テ參ツテ居リマスルコトハ御話ノ通リデゴ
ザイマス、其ノ目的ト致シマスル所ハ、今
更私ガ申上ゲマスルマデモナク、之ニ依ツ
テ金融機關ノ基礎モ鞏固トナリ、又資金ノ
吸收ニ致シマシテモ、又其ノ集リマシタ資
金ノ効率的ナ運用ニ致シマシテモ、又お互
ヒノ無用ノ競争ヲ防止スルト云フ所謂經營
合理化ノ點カラ致シマシテモ、益々金融機關
ガ各般ノ機能ヲ發揮致シマスルヤウニ總テ
改善ガ行ハレルト云フ見地ニ於テ之ヲ實行
シテ參ツテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシ
テ私共ノ考ヘテ居リマスル所ハ、合併若シ
クハ買收等ノコトハ單ニソレ自體ニ意味ガ
アルトハ勿論考ヘテ居ラヌノデゴザイマス、
アルトカ、單一デアルトカ云フコトヲ意味
シテハ居ラヌト考ヘテ居ルノデアリマシテ、
要ハ合併、買收ヲ致シマシタ結果、個々ノ
業績ノ上ニ齎ラス所ハ、却ツテ弊害ガ生ズ
ルデアラウ、ソレヲ當局ガ餘程研究ヲシテ
戴イテ、合併ヲナサシメナケレバナラヌノ
ニアリマス、及ビ不安デ今ドウナルヤラト
云フ腰ノ極マラヌモノヲ、何トシテ之ヲ安
定セシメルカ、此ノ方針ニ付テ大體ノ御意
見ヲ承ツテ置キタイ、個々ノコトニ付キマ

シテ只今ノ御話ニモゴザイマシタガ、
兎角地方ニ於テハ、早晚合併サレルノデハ
ナイカト云フコトカラ、業者ガ其ノ氣勢ヲ
タガ、若シスカル事態ガアルト致シマスレ
バ、ソレハ非常ニ遺憾ナコトデアリマシテ、
當局ト致シマシテハ、其ノ事態ニ應ジテ十
分ノ能力ガ發揮サレテ居ルト云フ金融機關
ニ對シテ、何モソニコニ合併ノ必要ト云フコ
トハ感ジテ居ラヌ次第ゴザイマスカラ、
ソレ等ノ人達ニ於キマシテハ十分ニ安心ヲ
シテ、益々金融機關ノ使命ノ達成ニ努力シテ貰
ヒマスルヤウニ、私共ト致シマシテモ、其
ノ合併方針等ノ趣旨ガ徹底致シマスルヤウ
ニ機會アル毎ニ努力ヲ續ケタイト存ズルノ
ゴザイマス、左様ナ次第ゴザイマシテ、私
共ハ只今申上ゲタヤウナ見地ニ於テ合併ヲ
勧メテ居ルノデゴザイマスルガ、唯特ニ此
ノ際金融機關ノ經營ノ衝ニ當ツテ居ル人ニ
望ンデ居リマスルコトハ、或ル事態ニ於テ
金融機關ガ最高ノ機能ヲ發揮シテ居ルト云
フコトハ、事態ガ段々變ルニ從ヒマシテ、
其ノ金融機關ノ經營ノ方法ガ又變ツテ參リ
マセヌト、其ノ事態ノ要求スル最高能率ノ
發揮ト云フコトニ向ツテ參ラナイノデアリ
マス、此ノ邊ハ金融機關ノ經營者ニ於キマ
シテモ十分ニ彈力性ノアル事態ノ移り變り
ニ適應シタ考ヘ方ヲ以テ、始終其ノ經營ヲ
續ケテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第
アリマシテ、兎角時勢ノ移り變リト云フコ
トニ對シテ適應ガ十分分、ナイト云フ見地カ
ラ合併ノ必要ガ生ジ、若シクハ其ノ合併ニ
シテ、具體論、實際論デナクテハナラヌト
シテ理解ガ十分ナイト云フヤウナ問題
ガ起り勝チナノデアリマスカラ、此ノ點ニ
付テハ當時金融機關ニ對シテ、其ノ趣旨ガ

シテハ又別ノ機會ニ御伺ヒスルコトニ致シ
マス
○松田(正)委員 金融機關ノ合併ハ、全部ト
ナイカト云フコトカラ、一部分ヤハリ地方長官ニ
委任サレテ居ルヤウナコトニナツテ居ルノ
デハナイカト思ヒマス、ソレガ爲ニ地方ノ
經濟部長アリガ大藏省ノ今ノ御答辯ト大
分違ツタヤウナ方針ヲ以テ、金融機關ニ向
ツテ色々ノ合併方法ヲ講ジテ居ラレル、ソ
レガ爲ニ兎モスレバ感情的ノ行違ヒナドノ
起ルコトモナキニシモアラズデ、若シサウ
シテ、益々金融機關ノ使命ノ達成ニ努力シテ貰
ヒマスルヤウニ、私共ト致シマシテモ、其
ノ合併方針等ノ趣旨ガ徹底致シマスルヤウ
ニ機會アル毎ニ努力ヲ續ケタイト存ズルノ
ゴザイマス、左様ナ次第ゴザイマシテ、私
共ハ只今申上ゲタヤウナ見地ニ於テ合併ヲ
勧メテ居ルノデゴザイマスルガ、唯特ニ此
ノ際金融機關ノ經營ノ衝ニ當ツテ居ル人ニ
望ンデ居リマスルコトハ、或ル事態ニ於テ
金融機關ガ最高ノ機能ヲ發揮シテ居ルト云
フコトハ、事態ガ段々變ルニ從ヒマシテ、
其ノ金融機關ノ經營ノ方法ガ又變ツテ參リ
マセヌト、其ノ事態ノ要求スル最高能率ノ
發揮ト云フコトニ向ツテ參ラナイノデアリ
マス、此ノ邊ハ金融機關ノ經營者ニ於キマ
シテモ十分ニ彈力性ノアル事態ノ移り變り
ニ適應シタ考ヘ方ヲ以テ、始終其ノ經營ヲ
續ケテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第
アリマシテ、兎角時勢ノ移り變リト云フコ
トニ對シテ適應ガ十分分、ナイト云フ見地カ
ラ合併ノ必要ガ生ジ、若シクハ其ノ合併ニ
シテ理解ガ十分ナイト云フヤウナ問題
ガ起り勝チナノデアリマスカラ、此ノ點ニ
付テハ當時金融機關ニ對シテ、其ノ趣旨ガ

項ヲ記載致シマシテ、社債ノ移轉又ハ質權ノ設定ト云フヤウナコトニ第三者ニ對抗スルコトニチツテ居リマス、隨ヒマシテ既發ノ社債デ既ニソレガ質權ノ目的物ニナツテ居ルト云フ場合ニハ、ソレノ登錄手續ヲ執リマシテ、サウシテ債券ヲ一應登錄機關ニ於テ回収シテ、登錄後ニ於テ質權ノ目的物タルコトヲ明カニシテ第三者ノ對抗要件トスル、斯ウ云フヤウニナルト思ヒマス、ソレカラ次ニ費用ノ點ニアリマス、登錄機關開ガ登錄ニ際シテ少額ノ手數料ヲ徵收スルヤウナ制度ニ致シテ居リマスガ、是ハ今後發行サレマス社債ニ付テハ、多ク社債ヲ發行スル會社ガ之ヲ負擔致シマシテ、發行ノ際發行ヲ引受ケマス會社トノ契約デ手數料ヲ負擔シテ、爾後社債權者ガ登錄ヲ致シマス際ニハ、別ニ手數料ヲ拂ハナイデ濟ムカト思ヒマス、唯既發ノ社債ニ付テハ、サウ云フコトニ運び得マセヌノデ、社債權者ガ少額ノ手數料ヲ出ス必要ガアルト思ヒマスガ、是ハ將來色々ナ點デ研究致シマシテ、手數料ヲ決メタイト思ツテ居リマス、大體ノ手數料ト云フコトニ相成ルカニ於キマシテ一件十錢カ十五錢ト云フヤウナ決メ方ト、一ツハ金額ニ依ツテ百圓ニ付キ一錢程度ノ手數料ト云フコトニ相成ルカ考ヘテ居リマス、ソレカラ登錄致シマシテ、次官カラ其ノ方針ヲ明示シテ戴キタインコトニ付テ申上げマシタ時併セテ申上げマシタガ、今後之ヲ登錄致シマシテ、其ノ登錄致シマシタ社債ヲ移轉スル、其ノ他ハ登録ニ依ツテ其ノ事項ヲ記載致シマシテ、第三者ノ對抗要件又社債ヲ發行致シマシタ會社ニ對スル對抗要件ト致スコトニ相成ツテ居ルノアリマス

○川俣委員 私ハ大臣ニ御尋ネ致シタイノデスガ、居ラレマセヌカラ次官ニ唯一點ダケ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、第一點ハ態度ヲ決メル上ニ於テ必要ダト思フノデスガ、不動產金融ヲスル場合ニ、今マデ通り、ノ情勢デ金融スルノカ、或ハ再生産或ハ生産増強ノ爲メデナケレバ金融シナイノカ、其ノ點ガ明瞭デナカツタト思フノデス、今マデノ不動產金融ト云フモノハ、地方ニ資産ガ潤渴シテ居リマシタノデ、ソレヲ持廻リマシテ、農村ヲ潤ホスト云フ爲ニ、色々經濟活動活潑ナラシメル爲ニ、不動產金融ヲ人間ノ多い農村ニサレテ、生活様式ヲ高メル爲ニ必要ダツタトハ思ヒマスケレドモ、今日ノ狀態デハ凡ユル資金ト云フモノハ國防國家目的達成ノ爲メノ生産金融デ、生産ノ爲ニ金融サレナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、ドウモ其ノ點ニ付テス部面も相當アルト思ヒマス、併シソレヲ全部斷チ切ルコトニ依ツテ生ズル所ノ缺陷ニ付テハ他ニ方法ヲ講ズベキデアル、ヤハリ今日サウ云フヤウニ方針ヲ生產部面ニ全部流スヤウニ建テ替ヘラレル以上ハ、ヤハリ其ノ方向デ行カナケレバナラスト思ヒマス、其ノ結果生ズル勞力ノ不足、資材ノ不足マデ全部考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、唯今迄ノ情勢デ者ヘテ行クナラバ他ノ問題ノ解決ヲ圖ラナイデ居ツテ唯情勢デ金融致スト云フコトニナレバ、ソニニ勞賃ノ暴騰ガ生ジタリ、或ハ闇ガ生ジタリ、物資ノ一時的、部分的ナ缺乏ガ生ジタリ致シマシテ寧ロ弊害ガ多イト思ヒマスノデ、若シ其ノ爲ニ起ツテ來ル所ノ色々ナ金融上ノ不足ニ付テハ、私ハ他ノ政策ヲ以テ解決スベキデアルト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テモウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスルヤウニ、又不要、不急ノ方面ニハ資金ニ鑑ミマシテ必要ナル場面ニ資金ノ廻ハリマスルヤウニ、又不要、不急ノ方面ニハ資金ノ廻ハラナイヤウニ致スコトヲ方針トスル

○川俣委員 私ハ大臣ニ御尋ネ致シタイノデスガ、居ラレマセヌカラ次官ニ唯一點ダケ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、第一點ハ態度ヲ決メル上ニ於テ必要ダト思フノデスガ、不動產金融ヲスル場合ニ、今マデ通り、ノ情勢デ金融スルノカ、或ハ再生産或ハ生産増強ノ爲メデナケレバ金融シナイノカ、其ノ點ガ明瞭デナカツタト思フノデス、今マデノ不動產金融ト云フモノハ、地方ニ資産ガ潤渴シテ居リマシタノデ、ソレヲ持廻リマシテ、農村ヲ潤ホスト云フ爲ニ、色々經濟活動活潑ナラシメル爲ニ、不動產金融ヲ人間ノ多い農村ニサレテ、生活様式ヲ高メル爲ニ必要ダツタトハ思ヒマスケレドモ、今日ノ狀態デハ凡ユル資金ト云フモノハ國防國家目的達成ノ爲メノ生産金融デ、生産ノ爲ニ金融サレナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、ドウモ其ノ點ニ付テス部面も相當アルト思ヒマス、併シソレヲ全部断チ切ルコトニ依ツテ生ズル所ノ缺陷ニ付テハ他ニ方法ヲ講ズベキデアル、ヤハリ今日サウ云フヤウニ方針ヲ生產部面ニ全部流スヤウニ建テ替ヘラレル以上ハ、ヤハリ其ノ方向デ行カナケレバナラスト思ヒマス、其ノ結果生ズル労力ノ不足、資材ノ不足マデ全部考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、唯今迄ノ情勢デ者ヘテ行クナラバ他ノ問題ノ解決ヲ圖ラナイデ居ツテ唯情勢デ金融致スト云フコトニナレバ、ソニニ労賃ノ暴騰ガ生ジタリ、或ハ闇ガ生ジタリ、物資ノ一時的、部分的ナ缺乏ガ生ジタリ致シマシテ寧ロ弊害ガ多イト思ヒマスノデ、若シ其ノ爲ニ起ツテ來ル所ノ色々ナ金融上ノ不足ニ付テハ、私ハ他ノ政策ヲ以テ解決スベキデアルト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テモウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスルヤウニ、又不要、不急ノ方面ニハ資金ノ廻ハラナイヤウニ致スコトヲ方針トスル

○川俣委員 今ノ續キヲモウ一點伺ヒマスガ、私ハ今マデノ情勢デ貸サナケレバナラス部面も相當アルト思ヒマス、併シソレヲ全部断チ切ルコトニ依ツテ生ズル所ノ缺陷ニ付テハ他ニ方法ヲ講ズベキデアル、ヤハリ今日サウ云フヤウニ方針ヲ生產部面ニ全部流スヤウニ建テ替ヘラレル以上ハ、ヤハリ其ノ方向デ行カナケレバナラスト思ヒマス、其ノ結果生ズル労力ノ不足、資材ノ不足マデ全部考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、唯今迄ノ情勢デ者ヘテ行クナラバ他ノ問題ノ解決ヲ圖ラナイデ居ツテ唯情勢デ金融致スト云フコトニナレバ、ソニニ労賃ノ暴騰ガ生ジタリ、或ハ闇ガ生ジタリ、物資ノ一時的、部分的ナ缺乏ガ生ジタリ致シマシテ寧ロ弊害ガ多イト思ヒマスノデ、若シ其ノ爲ニ起ツテ來ル所ノ色々ナ金融上ノ不足ニ付テハ、私ハ他ノ政策ヲ以テ解決スベキデアルト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テモウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスルヤウニ、又不要、不急ノ方面ニハ資金ノ廻ハラナイヤウニ致スコトヲ方針トスル

○瀧澤委員 一寸簡単ニ御伺ヒタイト思ヒマスガ……

○瀧澤委員 極メテ簡單ニ御伺ヒ致シマス、農工銀行勸業銀行ノ配當ニ制限ヲ受ケテ居ルヤウデアリマスガ、信用組合ノ配當ノコトデスガ、信用組合ハ長イ間掛ツテ段々整備サレテ來テ、内容ハ充實シテ居ツテ五分六分ノ配當ガ出來ルヤウニナツテ居ル、ダガ之ヲ四分位ニ東京府デモ制限シテ居リマス、銀行會社ノ方ハサウ云フコトハアリマセヌケレドモ、信用組合ニ限ツテノ出資金ニ限り四分ニスルト云フコトハ、私ハ餘りドウモ農工銀行ナリ勸業銀行ノ配當ト比べテ見テモ少イト思フガ、是ハ大藏省ノ御指示ニナツタモノカドウカ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 只今御尋ネノ點ハ大藏省ノ方ノ指示ニ依ルカドウカ一寸ハツキリ致シテ居リマセヌノデ、明確ニ申上げ兼ネマス、唯信用組合ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ共同組織ノ關係ニ於キマシテ、預金者

モ、貸出ヲ受ケル者モ、又出資者モ、總テ

ガ同ジ範囲ノ共同組織者ニナツテ居リマス

關係デ、仕組ノ上ニ於キマシテ通常ノ金融

機關トハ稍々趣キヲ異ニスル所カラ、自然ソ

ズルコトモアリ得ルカト思フノデアリマス、

只今御指摘ノ點ニ付キマシテハ篤ト今承知

致シテ居リマセヌノデ、尙ホ能ク其ノ邊ヲ

取調べタイト思ヒマス

○瀧澤委員 只今ノ大藏省デ指示シタカド

ウカ分ラナイト云フコトハ御尤モダト思ツ

テ居リマス、ソレカラ出資者モ借入レル人

モ同一ノモノデアルカラ配當ヲ少クシロト

云フ御話モ御尤モデアルト思ヒマスガ、此

ノ信用組合ハ作ル初メニ於キマシテ、借り

ル者ダケ集メタノデハ貸ス金ガナイ、ソコ

デ地方ノ有力者ニ御願ヒシテ、嫌ヤガル人

ヲ出資者トシテ加ヘテ、之ヲ五分ナリ六分

ナリノ銀行株券位ノ配當ヲスルカラ出シテ

貰ヒタイト云フノデ入ツテ貰ツテ、第一ノ

出資ニ充テテ事業ヲ開始シテ居ルト云フノ

○深澤(吉)委員 私ハ翼賛議會同盟ヲ代表シテ日本銀行法中改正法律案外各案ニ對シマシテ原案贊成ノ意見ヲ表明致シマス、併シ日本銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行業務執行ニ付テ政府ニ監督指導上要望スルノデアリマス——深澤吉平君

高度國防國家建設ト同時ニ、東亞戰必勝ヲ期スル上ニ於テ、國內產業ノ旺盛ヲ期スルコトハ最大要件デアル、又國民ノ最小限度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保障スル所、就中農業生産部面ノ食糧等生産度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保

護スル所、就中農業生産部面ノ食糧等生産

度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保

護スル所、就中農業生産部面ノ食糧等生産

度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保

護スル所、就中農業生産部面ノ食糧等生産

度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保

護スル所、就中農業生産部面ノ食糧等生産

度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保

護スル所、就中農業生産部面ノ食糧等生産

度ニ於テノ生活ノ保障ハ政府ノ聲明シ又保

大ニ失スル傾向舊來ト變リナク、延滞利息ノ如キハ甚ダ過酷ニ失スルモノデアル、又ノコトデアル、然ルニ此ノ各種銀行ニ於ケル金利ヲ見ルニ、預金ト貸付金利率ノ差過大ニ失スル傾向舊來ト變リナク、延滞利息ノ如キハ甚ダ過酷ニ失スルモノデアル、又ノコトデアル、然ルニ此ノ各種銀行ニ於ケル金利ヲ見ルニ、預金ト貸付金利率ノ差過

ノ如キハ甚ダ過酷ニ失スルモノデアル、又ノコトデアル、然ルニ此ノ各種銀行ニ於ケル金利ヲ見ルニ、預金ト貸付金利率ノ差過

ル、又高度國防國家建設ハ斯クナケレバナル、隨テ自由耕作ハ制限耕作ニナリ、亦從來ノ緣故上斯様ナ方面ニ金融シテ居ラテ、斯クノ如クシテ互ヒニ自分ノ店ナイ沿革ヲ以チマシテ、興業銀行ノ方ニソラコトデアル、隨テ此ノ見地、此ノ制約下ニ於ケル金融モ亦此ノ線ニ沿フハ當然ハ高度國防國家建設ト必勝ノ國內體制ヨリ適正小作料ノ設定、農產物公定價格等、從來ノ經濟自由ハ茲ニ制約セラレテ居ル、是ハ高度國防國家建設ト必勝ノ國內體制ヨリ當然ノコトデアル、然ルニ此ノ各種銀行ニ於ケル金利ヲ見ルニ、預金ト貸付金利率ノ差過

ノ如キハ甚ダ過酷ニ失スルモノデアル、又ノコトデアル、然ルニ此ノ各種銀行ニ於ケル金利ヲ見ルニ、預金ト貸付金利率ノ差過

○由谷委員長 石坂豊一君
○石坂(豊)委員 私ハ私共ノ同志ヲ代表致シマシテ、只今上程サレマシタル各案ニ贊成ヲ表シマス、而シテ特殊銀行ニ對スル運營ニ付テ、只今深澤君ノ述ベラレタル御希望等ニ付テハ全然同感ノ意ヲ表スルモノデアリマス、日本勸業銀行ノ業務ヲ擴大セラルコトハ、戰時體制ニ即應スル所ノ金融ヲ調整セラルルコトデアツテ、最モ適切ナコトト考ヘマスルガ、委員會等ニ於テ各委員ヨリ述ベラレマシタルガ如ク、又貴族院ニ於テモ意見ノ開陳ガアツク如ク、ヤハリ興業銀行ト相錯綜スル憂モナキニシモアラズト考ヘマス、唯錯綜スルバカリデナクソレカラ國民貯蓄組合法ノ改正、是亦我ガ國ノ戰時資金ヲ調達スル上ニ於テ最モ普遍的方法トシテ、此ノ組合ノ改正ヲセラレタコトハ機宜ニ適シタコト考ヘマスルガ故ニ、本案ニ贊成シマスルガ、實地ノ運用ニ付キマシテハ尙ホ一段ノ御配慮ヲ仰グ次第アリマス

○由谷委員長 是ニテ質問ハ終了致シマシタ、暫時休憩致シマシテ午後一時ヨリ開會致シマス、昨日申上げマシタヤウニ午後八時論採決ト云フ運ビニ致シタイト思ヒマスカラ、ドウゾ左様御諒承願ヒマス

○由谷委員長 是ニテ質問ハ終了致シマシタ、暫時休憩致シマシテ午後一時ヨリ開會致シマス、昨日申上げマシタヤウニ午後八時論採決ト云フ運ビニ致シタイト思ヒマス

午後零時四分休憩

ナツテ其ノ権利義務ヲ擁護シテヤルコトガ
必要デアリマシテ、私共之ニ大賛成ヲ表ス
ル者デアリマスルガ、併シ是ハ單ニ所謂稅
務官吏ノ退職場ヲ開クト云フコトデハイカ
ヌノデアツテ、飽クマデモ納稅義務者ノ便
宜ヲ新タニ開イテヤルト云フ立場カラ、國
民ノ納稅ノ爲ニ苦ムコトノナイヤウニ、好
ンデ戰時ノ大ナル負擔ヲ背負ツテ行クト云
フ立場ヲ打開スルガ爲メノ法律トシテ、私
共ハ之ヲ歡迎致スノデアリマス、之ニ付キ
マシテ辯理士及ビ辯護士等ニ對スル稅務代
理ノ許可等ニ對シマシテモ、一段ノ御注意
ヲ仰ギタインデアリマス

ソレカラ社債等ノ登録、是モ戰時ニ必要
ナル法律ト考ヘマス、又會計法特例案ニ付
キマシテモ、戰時ノ國庫金ノ出納等ニ關ス
ル已ムヲ得ザル法規ト認ヌマスルガ故ニ贊
成ヲ表スル次第デアリマス

○由谷委員長 川俣清音君
私ハ第一控室ヲ代表致シマシ
テ、日本勸業銀行法中改正法律案外六件ニ
對シテ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス、
唯茲ニ希望ヲ付シテ置キタイト思フノデア
リマス

日本勸業銀行外所謂不動産金融ヲ行ツテ
居ル銀行ト致シマシテハ、過去ノ惰性ニ因
ハレルコトナクシテ、眞ニ國防國家體制ヲ
完成スル上ニ於キマシテ、必要ナル生産擴
充増強ノ爲ニ之ヲ運用セラルベキモノト考
ヘルノデアリマス、政府モ斯カル答辯ヲ致
シテ居リマスルケレドモ、更ニ一段ノ配慮
ヲ要スルコト思フノデアリマス、農產品
ノ必要ナコトハ此處デ申スマデモナイノデ
アリマスケレドモ、ソレガ過去ニ於テハ日
本國民ノ多數ヲ擁シテ居ツテ、農產品ヲ

作ツテ居ツタノデアリマスガ、斯カル戰時
經濟ニナリマスト、他ノ工業品等ノ或ハ原
料生產、或ハ工業生產方面ニ勞務ノ勤員ヲ
行ハナケレバナラヌ狀態ニ相成ツテ居リマ
ス、或ハ第一線部隊ニ相當ノ勤員ヲ要スル
狀態デアリマス、隨テ不足ナ農村ノ人口ヲ
以テ如何ニ農產品ヲ增強セシムルカニ付テ
ハナケレバナラヌノデアリマシテ、唯金融
方面カラノミ此ノ問題ヲ解決スルト云フコ
トハ、是ハ不可能ダト思フノデアリマス、
今マデノヤウニ、單ニ農村ニ金融ヲ致シマ
スナラバ農村ガ活潑ニナルト云フ譯ニハ私
ハ參ラヌト思フノデアリマシテ、寧ロ總括
的ナ日本ノ財政ヲ受持ツテ居ラレマスル大
藏省致シマシテハ、他ノ官廳ヲ、大局カ
ラ指導致シマシテ、他ノ方法ヲ以テ此ノ增
強ヲ圖ルコトヲ當然指導サレナケレバ相成
ラスト思フノデアリマス

次ニ國民貯蓄組合法ニ付キマシテハ、是
ハ各委員カラ繕、述ベラレマシタ點モアリマ
スノデ、私モ大體同様ニ考ヘテ賛成ヲ致ス
ノデアリマスガ、更ニ一段ト國民貯蓄ヲ獎
勵シナケレバナラヌ現狀ニ於キマシテ、是
モ過去ノ狀態ニ因ハレルコトナクシテ、又
新シイ觀點カラモツトノ此ノ必要性ヲ大
藏省ハ考ヘルベキデアラウト思フノデアリ
マス、此ノ改正ヲ中心ト致シマシテ、更ニ
一段ノ努力ヲナスベキデアルト云フコトヲ
茲ニ附加ヘテ置キタイト思ヒマス

○由谷委員長 川俣清音君
私ハ第一控室ヲ代表致シマシ
テ、日本勸業銀行法中改正法律案外六件ニ
對シテ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス、
唯茲ニ希望ヲ付シテ置キタイト思フノデア
リマス

ウナコトガ此ノ反對ノ有力ナモノデアルト
思フノデアリマス、併シナガラ、石坂委員
カラモ申上ゲタ通り、國民ノ納稅義務ヲ完
遂セシタル爲ニハ、宜シク納稅者ノ意思ニ
即シテ之ヲ指導セシメ、サウシテ喜ンデ國
民ノ義務ヲ果サシタルヤウニシナケレバ相
成ラヌト思ヒマスノデ、此ノ稅務代理業
者ハ、寧ロ營業ト云フコトヨリモ、國民ノ
稅務ニ對シテハ大キナ指導ト相成ラナケレ
バナラヌト思ヒマスノデ、之ヲ單ナ
ル營業ト云フ風ニ考ヘシメズシテ、國民ノ
納稅義務者ヲシテ其ノ納稅ノ本體ヲ體得セ
シメルヤウニ指導スルコトガ必要デアラウ
ト思フノデアリマス、隨テ此ノ稅務代理士
ニ付テハ特別ナ監督ト特別ナ指導トヲ政府
ハ要スルモノト考ヘルノデアリマス、尙ホ
社債等登録法案ニ付キマシテハ、今後ヤハ
リ是ハ相當擴大シテ考ヘテ行カナケレバナ
ラヌコトダト思ヒマスノデ、慎重ニ取扱ハ
レントラ希望スルノデアリマス、會計法
戰時特例案ハ、目下緊急ナル處置ト致シマ
シテ賛成致スモノデアリマス、以上七案ニ
對シテ賛成ノ意ヲ表シマス

○由谷委員長 瀧澤七郎君
私ハ興亞議員同盟ヲ代表シテ
日本勸業銀行法中改正法律案外六件ニ對シ
テ原案ニ賛成スル者デアリマス、唯是ガ遂
行サレルニ當ツテハ、質疑應答ノ中ニ鑑ミ
ラレテ、十分ノ監督十分ノ注意ヲ拂ツテ戴
キタイト云フコトヲ希望ヲ申上ゲテ置キマ
ス、尙ホ一ツ勸業銀行ニ對シテハ特ニ御注
意ヲ戴キタイト思ヒマスルコトハ、勸業銀
行若シクハ農工銀行カラ土地ヲ擔保ニシテ
借入ヲスル場合ニ、其ノ擔保價格ガ非常ニ
豫期ニ反スル所ノ價格ガ出マシテ、折角安

イ金利ノ長期返済ノ金ハ借りリタト思ヒマス
ケレドモ、ソレガ豫期ニ反シテ居ル場合ニ
於テ第二、第三ノ擔保ヲ提供スル、是ガ高
利貸ノ狙ヒ所デアリマシテ、ソレガ爲ニ折
角安イ金利ト長期ノ返済方法デシテ戴イタ
コトモ却テ惡結果ヲ生ズル場合ガアリマス
カラ、此ノ擔保價格ニ付テハ、本當ニ實情
ド其ノ時ニ適スルヤウニ特ニ御注意アラン
コトヲ切望シテ置ク次第デアリマス
次ニ稅務代理法、是ハモウ淘ニ私ハ今日
ノ場合最モ適當ナルコト存ジマス、吾々
納稅者ガ常ニ稅務署ト喧嘩ヲスル——喧嘩
ト云フト語弊ガアリマスガ、鬼ニ角今日ノ
場合デアルカラト云フノデ稅務署ノ查定ニ
納稅者ガ常ニ稅務署ト喧嘩ヲスル——喧嘩
場合デアルカラト云フノデ稅務署ノ查定ニ
對シテ涙ヲ呑ンデ黙ツテ居ルヤウナ場合ガ
往々アリマス、ソレヲ法定ノ代理人ガ本當
ニ當事者ト相談ヲシ合ツテ、サウシテ適正
ナル納稅ノ義務ヲ果スコトガ出來ルヤウニ
ナリマシタコトハ、國民納稅ノ上ニ一大進
歩ト存ジマシテ、本案ハ本當ニ衷心ヨリ贊
成ヲ致ス次第デアリマス、其ノ他ノコトハ
各委員ヨリ御話ガアリマシタカラ、共ニ同
感デ此ノ意味ヲ以テ此ノ各案ニ對シテ賛成
ノ意ヲ表スル者デアリマス

○由谷委員長 討論ハ終結致シマシタ、是
ヨリ採決ヲ致シマス、各案トモ原案ニ贊成
ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
(總員起立)

○由谷委員長 起立總員、仍テ各案ハ何レ
モ原案ノ通り可決致シマシタ
是ニテ委員會ノ仕事ハ終了シマシタガ、
連日ノ委員諸君ノ御勞苦ヲ感謝スルト共ニ、
委員長極メテ不憚レデシタガ、皆様ノ御協
力ヲ得マシテ無事會議ヲ終リマシタコトヲ
衷心カラ感謝致シマス是ニテ散會致シマス

昭和十七年二月十二日印刷

昭和十七年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局